

第4次土浦市子ども読書活動推進計画(案)に係る
パブリック・コメントの実施結果について

1 実施結果

募集期間	令和7年12月9日(火)～令和8年1月8日(木)
募集方法	第4次土浦市子ども読書活動推進計画(案)を市のホームページに掲載したほか、図書館、分館、情報公開室、各支所、各地区公民館に設置し、意見については、郵送、ファックス、電子メール又は電子申請(LoGoフォーム)、持参のいずれかにより募集を行った。また、広報紙、市公式LINEで周知を図った。
意見提出者数	4人
意見件数	16件
市ホームページ閲覧数	104件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
1	<p>10頁 「コラム：子どもたちに聞いてみた」について</p> <p>興味深く読みました。生の子どもの声は大切ですし、それに対する、図書館のコメント「読書が義務や強制ではなく、楽しみや日常になるように」はとても素敵な考えだと思います。実際出た意見を見たいのですが、<u>この聞き取りで得た声を、そのまま計画に載せることは難しいでしょうか。</u></p>	<p>子どもたちの意見は、本計画の資料編に掲載いたします。</p> <p>完成した計画は、ホームページや図書館でご覧いただけます。</p>

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
2	<p>17 頁、19 頁 学校支援事業について</p> <p>学校図書館は多くの児童・生徒にとって一番身近であり、学習活動の充実や情報リテラシー教育にも資する大切な場です。土浦市では、全校に学校司書が配置されていることをふまえ、学校図書館の充実のため次の基本的な取り組みを充実させてください。</p> <p>子どもたちの学校図書館利用を一層促進するため、学校司書・司書教諭・市立図書館が連携し、蔵書数や内容の充実を図るとともに、<u>市立図書館による団体貸出や選書支援を強化してほしい</u>。また、学校司書を中心に、<u>図書館の利用方法や参考図書の使い方を学ぶオリエンテーションを各校で実施してほしい</u>。</p>	<p>学校図書館司書、司書教諭、図書館が連携した学校図書館利用の促進や蔵書の充実については、本計画において、p. 17「小学校支援事業の充実」及び p. 19「中学校支援事業の充実」として位置付けており、学校図書館活動を支援してまいります。</p> <p>学校司書を中心としたオリエンテーションや資料活用支援が各校で円滑に行われるよう、引き続き連携を図ってまいります。</p>
3	<p>17 頁、19 頁 学校支援事業について</p> <p>教科書や教科課程に沿って行われる調べ学習では、同時期に同種の資料が必要となり、十分な資料を確保することが難しい状況がある。そこで、年度当初に<u>司書教諭同士が学習時期の調整を行い、市立図書館や学校司書と連携しながら、子どもたちの学習に必要な資料を十分に提供できる体制を整えてほしい</u>。</p>	<p>調べ学習に必要な資料の確保や学習時期の調整については、p. 17「小学校支援事業の充実」及び p. 19「中学校支援事業の充実」の中で、授業における図書の活用支援や学校図書館司書との連携を通じて対応していく考えであり、学習内容や時期に応じた資料提供が行えるよう支援を進めてまいります。</p>
4	<p>19 頁 青少年サービスの充実について</p> <p><u>「ヤングアダルト向け図書の収集」の説明文がわかりにくい</u>です。図書館は青少年の進路や人間関係を支えることではなく、本を収集し、読書環境を整備するのが役割ではないかと思えます。</p>	<p>「青年期の進路選択や自己理解、日常の悩みに関する図書の充実」に努め、多様な価値観や生き方にふれることで、自ら考え、学び、成長する力を育む読書環境を整えます。」に修正いたします。</p>

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
5	<p>19 頁</p> <p>青少年サービスの充実について</p> <p>【追加の提案】</p> <p><u>中高生に対し、「本を読ませる場」ではなく、「静かに居られ、考えられる居場所」としての図書館機能の明確化</u></p>	<p>中高生に対する図書館の役割については、コミュニティスペース等を活用した居場所づくりを進めていく考えです。読書に不慣れな子どもや若者にとっても、自然と本や情報に触れられる環境づくりに努めてまいります。それを踏まえ、取組を「青少年サービスの充実」と変更し、以下の記載を追加します。</p> <p>「■ヤングアダルトの居場所づくり：中高生が気軽に立ち寄り、読書に限らず過ごせる環境を整えます。」</p>
6	<p>23 頁</p> <p><u>施策（１）の冒頭文の文章がおかしい。</u></p> <p>元々はもう少し長い文章だったのが省略されているのでしょうか。</p>	<p>「家庭では、保護者が絵本の読み聞かせを行うことや、子どもの興味や年齢に応じた本を身近に置くことなど、日常的に読書に親しめる環境をつくるのが大切です。」に修正いたします。</p>
7	<p>24 頁</p> <p>学校図書館司書との連携について</p> <p><u>司書教諭、学校司書の研修を継続して確実に行ってほしい。特に学校司書は一人職場でもあり、年度内に数回の研修・情報交換を確実にし、より専門的な働きができるようにしてほしい。</u></p>	<p>司書教諭、学校図書館司書の研修や情報交換の継続については、p. 24「学校図書館司書との連携」において、定期的な情報交換や研修会の実施を明記しております。学校図書館司書が単独勤務であることも踏まえ、図書館と学校との連携を通じて専門性の向上や相互支援が図られる体制づくりに努めてまいります。</p>

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
8	<p>25 頁</p> <p>電子図書館の充実、活用について</p> <p>子どもたちがスマホやタブレットばかり見ているのが気になります。スウェーデンでは、教育現場においてタブレットを廃止し、教科書を紙に戻しました。<u>電子書籍を買った分、紙の本が減ってしまうのは心配です。</u>特に小さな子どもには、紙の感触や匂い、本の大きさ、重さを感じてもらいたいです。</p>	<p>デジタル推進国のスウェーデンにおいて、子どもの学びの在り方が再考されていることは認識しており、子どもの読書活動において紙の図書収集・提供を基本とする考えに変わりはありません。</p> <p>電子図書館の整備は、多様な読書の機会を確保するための一つの手段であり、電子書籍を紙の本の代替品として位置づけているものではありません。</p> <p>電子書籍は、来館せずに借りられるという利点や、文字の大きさ・色の選択、読み上げ機能を備えるなど、配慮を必要とする子どもたちにとっても、読書の機会を広げる有効な方法です。紙の本と電子書籍、それぞれの特長を生かしながら、子ども一人ひとりに合った読書活動を支援していきたいと考えております。</p>
9	<p>25 頁</p> <p>読書習慣の形成と書架づくりについて</p> <p>【追加の提案】</p> <p><u>選書や展示において、選択肢を絞った即決型の導線の導入</u>（例：今月の5冊など）</p>	<p>「■子どもに使いやすい書架づくり」の中で実施いたします。</p> <p>選書や展示において選択肢を絞り、読書につながりやすい導線を設けることは、読書に不慣れな子どもにとって有効な取組であると認識しております。テーマを限定した展示やおすすめ図書の紹介など、子どもたちが、より本を手に取りやすくなる工夫に努め、引き続き、読書のきっかけづくりを推進してまいります。</p>

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
10	<p>25 頁 図書館における読書機会の提供と環境整備について</p> <p>市立図書館の全域サービスの向上と中央館・分館のサービス充実のため、次の具体策を明記してください。</p> <p>○<u>中央館の児童コーナーおよび分館カウンターには職員を基本的に常駐させ、子どもたちの質問や読書相談に常に対応できる環境を整備してください。</u></p> <p>○<u>現在の分館に加え、市内数か所に返却本の受け取りなどを行うサービスステーションを設置してください。</u></p> <p>○<u>分館においても掲示や展示を行い、子どもたちが読書に関心を持てる環境を整備してください。</u></p>	<p>○中央館の児童コーナーおよび分館カウンターの業務については、委託業者により運営しておりますが、専門的な知識や能力を身につけたスタッフを配置し、子どもたちの質問や読書相談に丁寧に対応しているところであり、引き続きサービスの充実に努めてまいります。</p> <p>○現在、分館のない市内の中学校地区公民館（一中地区、二中地区、四中地区、上大津、六中地区）に返却ポストを設置し、図書の返却ができるようになっております。今後も既存の返却ポストの周知を図り、利便性の向上に努めてまいります。</p> <p>○新治地区分館を除く分館はスペースの制約があり、常設的な展示を行うことが難しい状況です。限られた環境の中でも、可能な範囲で子どもたちが本に親しめる工夫について検討してまいります。</p>
11	<p>28 頁 子どもに関わる大人に対する事業の実施について</p> <p>市民ボランティアを増やし育成してゆくために、<u>新規ボランティアの養成講座やボランティア同士が情報交換できる研修会などを年度ごとに確実に行ってほしい。</u></p>	<p>市民ボランティアの拡充や育成、また継続的な活動を支えるための研修や情報交換の機会について、本計画では、p.28「子どもに関わる大人に対する事業の実施」の中で「ボランティアの育成及び研修会の実施」を位置付けており、読み聞かせや年齢別の読書活動に関する研修会を通じて、ボランティアの育成と資質向上を図ることとしております。これらの取組により、子どもの読書活動を支える体制の充実に努めてまいります。</p>

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
12	<p>29 頁 情報提供について <u>「子ども読書活動推進計画」の策定内容や実行・改善の要旨を、市の広報紙に掲載し確実に多くの市民に知らせてください。</u> 地域が子どもたちの読書活動の関心を持ち、理解することは、計画案の推進に役立つと思います。</p>	<p>市の広報紙やホームページ、SNS を活用し、情報発信に努めてまいります。また、関係機関や地域と連携しながら、子どもの読書活動に対する理解と関心が広がるよう、効果的な周知方法についても検討してまいります。</p>
13	<p>30 頁 成果目標の指標について 【追加の提案】 <u>読書量や貸出数だけでなく、滞在時間や再来館率など、行動の過程を評価する指標の検討</u></p>	<p>滞在時間や再来館率などの行動過程を評価する必要性は認識しており、現在アンケート調査等で利用実態の把握に努めておりますが、今後は、利用実態の指標についても検討してまいります。</p>
14	<p>計画全体について 基本方針が「発達段階に応じた読書活動の推進」となり、読み聞かせやお話し会、学校支援など、子どもが読書を身近に感じられる取組が整理されていて良いと思われました。第3次計画を継続し、さらに拡充していく姿勢も評価できます。<u>土浦市は高校が多く、高校生にとって身近に良い読書環境があることは大切であるため、図書館の読書環境整備が計画どおり進むことを期待します。</u> 全体として内容が分かりやすく、子どもの読書活動への意欲が感じられる計画だと思います。 人員や予算の確保は大変だと思いますが、今後の図書館の取組に期待しています。</p>	<p>読み聞かせや学校支援などの取組が、子どもたちに読書を身近に感じるきっかけとなるよう、今後も関係機関と連携しながら推進してまいります。</p> <p>高校生を含めた読書・学習環境の整備の重要性についても、図書館が安心して利用できる場となるよう、計画に基づき環境整備を進めてまいります。</p> <p>図書館運営にあたっては、委託事業者と連携しつつ、市が主体となって本計画を推進し、効果的な取組となるよう努めてまいります。</p>

意見No.	項目・意見内容	意見に対する考え方・修正の方針及びその内容
15	<p>計画全体について</p> <p>本計画では読書の大切さや理念が丁寧に示されています。一方で、<u>読書を通して市としてどのような子ども像を目指すのか、その具体的な目的がやや見えにくいと感じます。</u>読書は単に「読むこと」が目的ではなく、疑問を持ち、考え、答えを探すための思考の道具です。そのため、子どもが「何を読めばよいか」「どのように読み進めればよいか」を示す導線や支援が重要です。</p> <p>電子図書館やICTの整備は進んでいますが、利用は一部に限られており、「自然に触れる仕組み」への転換が求められます。図書館の役割は単に本を提供する場ではなく、読書に不慣れな子どもが本に入りやすくなる支援や、歴史・政治など幅広いテーマを分かりやすく提示することも必要です。課題や問題点に触れることで、「なぜだろう」「自分ならどう考えるか」という思考が生まれます。</p> <p><u>読書を「良いことだから勧める段階」から、「考えるためにどう活用するかを示す段階」へと転換し、子どもが読む理由を理解できる読書につながることを期待します。</u></p>	<p>市の目指す子ども像を示すため、p. 12「基本理念」を修正いたします。</p> <p>読書は単に本を読むこと自体を目的とするのではなく、疑問を持ち、考え、課題に向き合う力を育むための重要な手段となります。読書に不慣れな子どもが自然に本と出会えるよう、図書館や学校における読書のきっかけづくりや、分かりやすい案内・支援の充実に努めてまいります。</p> <p>電子図書館やICTについても、利用しやすい仕組みとなるよう工夫に努めてまいります。</p> <p>子どもたちが考えるきっかけとなるような読書環境づくりについて、p. 25「図書館における読書機会の提供と環境整備」の中で取り組み、子どもたちが読書を通して主体的に考え、学びを深められるよう、本計画を推進いたします。</p>
16	<p>計画全体について</p> <p>基本的に原案が良くできていると思います。</p> <p>第1次計画からの動きを読みますと、改めて<u>学校司書の全校配置・新図書館の完成が推進の力になっている</u>と感じました。</p> <p>特に、<u>様々なイベント、職業体験は素晴らしいと思ひ、継続していただきたい</u>と思ひます。さらに、良いもの新しいものも検討しながら、お願いします。(ex 中学生のビブリオバトル、図書館を使った調べ学習コンクールへの参加支援など)</p>	<p>学校図書館司書の全校配置や図書館の整備は、本市における子どもの読書活動推進の大きな基盤となっており、読書関連イベントや職業体験等の取組を進める上での力となっております。</p> <p>既存の事業の充実を図るとともに、より効果的で魅力ある取組を検討してまいります。</p>